

NISSAN MOTOR CORPORATION



2017年度 自動車リサイクル高度化支援事業について

日産自動車株式会社

2018年9月4日

FY17事業の背景と実行方針、基本ルールについて

<背景>

平成28年度（2016年）合同審議会の結果と自工会の基本ルールに基づき方針を決定した。
（2017年6月13日 日産ELVリサイクル委員会）

<実行方針>

- QCDの観点から日産での使用を優先する。
- J-FARへの寄付は1億円弱とし、成果を見極めた上で増額を検討提案する。

<基本ルール>

1. 自社への直接的な利益誘導にしかならない事業は原則 不可
2. 第三者等であっても個社の利益誘導にしかならない事業は原則不可
3. 自動車リサイクルとの関係性の薄い事業は原則不可
4. 自動車リサイクル全体へ広く裨益することの期待できない事業は原則不可
5. 定常的なランニングコストへの支援事業は原則不可

平成28年度（2016年）合同審議会の報告書より抜粋

<リサイクル料金の余剰部分の拠出に係る仕組みの構築>

メーカー等が払い渡しを受けた特定再資源化等預託金と実際の再資源化等に要した費用の差額について、取扱いを下記のとおり整理した。メーカー等各社においては、各々の状況を踏まえ、下記の取扱いのうち、①を基本としつつ②及び③を含め、適当な手法を選択し、これを管理することとする。

- ① メーカー等各社において、中長期的な収支均衡を目指し、これまでと同様の取扱いとしてこれを管理する。
- ② メーカー等各社において自動車リサイクルの高度化等に資する公的な事業を実施する。
- ③ 自動車リサイクルの高度化等に資する公的な事業を行う外部基金をメーカー等が共同で設置し、これに拠出する。

※メーカー等各社の共通の拠出先として当該外部基金を整備し、集まった拠出金をもってリサイクルの高度化に資するような公的な事業を実施することを想定。

上記整理に基づく取扱いを平成29年度以降開始することを目指す。

参考) 日産ELVリサイクル委員会
議長：生産部門EVP
参加役員：
松元EVP(生産)
坂本EVP(R&D)
星野SVP(M&S)
能丸VP(IT)

FY17事業一覧

アイテム名 (15件)	委託先	実績 (百万円)	FY17完了 /FY18継続	公表予定 (HP掲載)
社内活用合計		367		
シュレッダーダストの再生利用		148		
ASR回収樹脂からのリサイクルプロセス最適化 ※次ページ以降で説明	Veolia	83	継続	8月
ASR回収プラスチックのアップグレードリサイクル技術研究	福岡大学	20	継続	9月
自動車廃プラスチック油化技術の開発	三井化学	30	継続	↑
リサイクル技術動向調査及び使用済自動車のスクラップ選別の最適フローに関する検討	三菱総研	12	完了	↑
微生物によるPPリサイクル技術の研究	慶應大学	3	継続	↑
電動ユニットのリサイクル技術開発		57		
駆動用モーター磁石からのレアアース回収技術開発	早稲田大学	11	継続	11月
使用済み電気自動車の駆動用モーター解体技術	三菱マテリアル	3	完了	↑
リチウムイオンバッテリー (LiB) の寿命延長技術開発(非破壊寿命診断)	Internal Geometory Science	40	継続	↑
次世代自動車用電池材料の長寿命化技術調査	コベルコ技研	3	完了	↑
軽量車体のリサイクル技術開発		43		
自動車アルミパネル高度選別技術開発	マテック	10	継続	10月
アルミスクラップからの自動車向けアルミ板製造プロセスの開発 (2件)	東京工業大学 大阪工業大学	4	完了	↑
CFRPのCar to Carリサイクルへ向けた実証	デロイト・トーマツ	29	継続	↑
教育・広告		119		
わくわくエコスクールでの自動車リサイクルビデオ作成	博報堂プロダクツ	20	継続	8月
LBリユースの啓発広告 ※次ページ以降で説明	TBWA HAKUHODO	99	継続	↑

事業の紹介その1：ASR回収樹脂からのリサイクルプロセス最適化

費用の妥当性について

- 見積り方式：
 - 原則は相見積り。
 - ただし、今回は実行日程を考えて、経験あるveoliaを指定
- 原単位：社内実績を適用
- 見積りプロセス：購買を通して精査、発注
- 社内承認：
 - 経理部署バリデーション、
 - R&D役員承認
- 実績検収：
 - 実績内容を確認して支払い

ご請求内訳書

契約金額：89,107,020円（税込み）

中間検収分：38,539,800円（税込み）

今回ご請求分：50,567,220円（税込み）

大項目	小項目	時間単価 (円/時)	時間 (h)	当初積算		実績積算		差(円)
				小計(円)	項目計 (円)	小計(円)	項目計 (円)	
1. 調査人件費					26,850,000		27,790,000	940,000
(1)ASR由来樹脂の選別回収技術検証					10,010,000		10,950,000	940,000
① ASR由来のミック プラスチックの選 別技術の検討	本部長		40				30	
	副本部長		40				30	
	シニアマネージャー		40				40	
	マネージャー		0		2,120,000	0	0	1,740,000
② ASR由来のミック プラスチックの一次選別 実証試験	本部長		20				20	
	副本部長		20				20	
	シニアマネージャー		40				80	
	マネージャー		0		1,360,000	30	2,320,000	960,000
③ 異系樹脂の選別技 術であるブラックアイの 選別実証試験	本部長		20				10	
	副本部長		40				0	
	シニアマネージャー		0				70	
	マネージャー		20		1,360,000	30	1,610,000	250,000
④ ASR由来のミック プラスチックの二次選別 実証試験	本部長		50				30	
	副本部長		0				0	
	シニアマネージャー		50				100	
	マネージャー		60		2,470,000	40	2,550,000	110,000
⑤ 公表資料の作成	本部長		60				60	
	副本部長		0				0	
	シニアマネージャー		100				100	
	マネージャー		0		2,700,000	0	2,700,000	0
(2)解体よりの樹脂原料 の再生材化のQCD向上 検証					5,200,000		5,200,000	
小計		50,000	40	500,000		40	500,000	

事業の紹介その2：LBリユースの啓発広告

背景

- 将来、電動車が増えると、使用済みバッテリーの2次利用を検討する必要がある。
- 自動車用バッテリーは大容量のため、自動車以外に有効活用できる。
- 2次利用について広く世の中に周知し、多くの人々が2次利用を考えるきっかけにしたい。

案の検討

- 啓発のため広くアイデアを検討。
(アイデア出しを含めて業務委託)
- 右の5つの候補から、公共性、社会貢献性、実行性により選定。



次世代に伝えるEVバッテリーの可能性



ゼロエミッション発想による課題解決



EVバッテリーの力を
インフラに変換



EVオーナーをヒーローにする
ソーシャルアクション



EVバッテリーによる
アトラクティブな社会実験

“THE REBORN LIGHT”
へ名称を変更



事業の紹介その2：LBリユースの啓発広告

THE REBORN LIGHT

メッセージ

自動車の使用済みバッテリーを有効利用することで、多くの人の生活に役立つこと。

コンセプト

- ① 電気が通っていない場所にも明かりを。
- ② 自動車でニーズが無くなったバッテリーをニーズのある場所に。
- ③ 現物（実証実験）による社会貢献と強い啓発広告。

事業概要

- 使用済みバッテリーを使った街灯
LED照明×使用済みバッテリー×太陽光パネル
- 実施内容：
公共性の観点から市町村へ相談
FY17: 横浜市×洋光台団地で実証実験(1基)
啓発広告動画を作成（2017年3月公開済み）
FY18: 福島県浪江町へ12基設置し実証実験
（2017年3月プレスリリース済み）

啓発広告動画



費用明細

項目	金額（円）
プロデュース費	2,050,000
ライト製作	35,000,000
ライト制作のためのバッテリー提供	106,000
事務局費用	100,000
WEBサイト制作	2,500,000
プロジェクトムービー制作	28,000,000
メイキングムービー制作	3,000,000

今後の予定

<FY17実績の公表について>

公表日程

- シュレッダーダストの再生利用（5件）：9月（1件は8月に発表済み）
- 電動ユニットのリサイクル技術開発（4件）：11月
- 軽量車体のリサイクル技術開発（4件）：10月
- 教育・広告（2件）：8月済み

公表方法

- 日産自動車ホームページ

https://www.nissan-global.com/JP/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/R_FEE/SAISHIGEN/

- 学会での発表(検討中)

<FY18以降の取り組みについて>

- FY17同様に弊社での事業を中心とする。
- J-FARの寄付はFY17と同額とする。
FY19以降は成果を確認した上で増額を検討する。